

平成21年度3月補正予算について

平成22年第1回紋別市議会定例会（平成22年3月1日招集、3月19日閉会）で可決された、補正予算の概要についてお知らせいたします。

1 補正予算の概要

今般の予算補正は、事業完了に伴う不用額の整理など、予算総額から3,997万1千円を減額したものです。

一般会計補正予算（第9号）の内容

（補正額の（ ）は、税等の一般財源、単位は千円）

科目	補正前	補正額	補正後	主な内容
総務費	1,147,388	(16,085) 28,485	1,175,873	事務用に使用するソフトウェアの購入費やふるさと納税による寄付が増加したことによる積立金の追加、市内水産加工業者が工場を増設したことに伴う産業誘致条例に基づく助成金のほか、市長選挙や衆議院議員選挙経費の不用額の減額などです。
民生費	3,093,552	(△ 8,955) △ 27,117	3,066,435	ひとり親家庭医療給付経費がインフルエンザの流行などにより不足したことによる追加のほか、身体障害者支援経費や児童手当給付費などに不用額が発生したことからこれを減額したものです。
衛生費	716,583	(△ 48,527) △ 53,362	663,221	入院設備を持たない休日夜間急病センターのバックアップを行う市内医療機関に対する委託料の追加のほか、各種検診経費やゴミ収集経費の入札減などを減額したものです。

科目	補正前	補正額	補正後	主な内容
農林水産業費	524,824	(△ 12,710) △ 66,599	458,225	各事業の事業完了に伴う、不用額の減額や不足する見込の追加などの補正です。
商工費	503,857	(13,798) 4,244	508,101	原材料価格高騰対応等緊急保証制度を利用する事業者に市が独自で保証料の1/2を補給していますが、融資を受ける事業者が増加したことによる追加補正のほか、事業完了に伴う不用額の減額の補正です。
土木費	2,724,268	(△ 13,433) △ 17,013	2,707,255	累積赤字を抱える港湾埋立事業特別会計の健全化のために、一般会計が資金を貸し付けるための補正のほか、各事業の不用額の整理のための補正です。
消防費	408,103	(△ 14,368) △ 14,368	393,735	消防組合に対する補助金の執行残が見込めるため、減額するものです。
教育費	1,181,949	(△ 9,375) △ 11,641	1,170,308	各事業の完了に伴う、入札減などを減額するための補正です。
公債費	3,201,560	117,400	3,318,960	ふるさと融資制度で貸し付けた資金が事業者より一括償還されたことから、貸付原資として発行した市債も繰上償還を行うものです。

※一般会計補正予算の詳細については、こちらの[議案](#)をご覧ください。

各特別会計補正の内容

会計名	補正前	補正額	補正後	主な内容
国民健康保険事業	2,851,592	(△ 28,000) 50,751	2,902,343	一般被保険者の医療費が増加したことに伴う追加補正と、保険税収入が見込より不足したため、財政安定化基金を取り崩して充てるための補正です。
港湾埋立事業	252,849	0	252,849	ふ頭用地など港湾施設の料金設定は、耐用年数に応じて決定しておりますが、施設建設のために借り入れた市債の償還年数は、耐用年数の半分程度であるため、構造的な赤字が発生します。これを解消するために資本費平準化債を発行する予定でしたが、借入利息を軽減するため、発行を取りやめ、一般会計借入金に変更したものです。
簡易水道事業	42,639		42,639	簡易水道使用料収入が、経費を下回ったため、これの補てんのため一般会計からの繰入金を充てるための補正です。
土地取得事業	467,449	△ 352,854	114,595	市が公共用地として土地が必要となった場合に、迅速に取得するため、土地開発基金を原資にこの会計を設置しています。事業実績にあわせて、不用額を減額するものです。
老人保健事業	75,999	16	76,015	道負担金等の受け入れと支出のための補正です。
後期高齢者医療事業	259,106	878	259,984	広域連合に支払う納付金の増額に伴う追加補正です。

※各会計補正予算の詳細については、こちらの[議案](#)をご覧ください。